

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社
 コード番号 4634 URL <http://schd.toyoinkgroup.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 克己
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務担当 (氏名) 青山 裕也
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3272-5731

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	206,631	10.4	15,303	11.1	16,651	16.4	10,422	70.8
25年3月期第3四半期	187,189	0.9	13,773	25.9	14,307	32.4	6,102	4.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 26,401百万円 (321.2%) 25年3月期第3四半期 6,268百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	34.93	—
25年3月期第3四半期	20.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第3四半期	336,654		183,942		53.1
25年3月期	299,571		161,322		52.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 178,657百万円 25年3月期 156,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	8.6	20,000	14.0	20,500	11.0	12,000	37.7	40.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	303,108,724 株	25年3月期	303,108,724 株
26年3月期3Q	4,758,179 株	25年3月期	4,727,008 株
26年3月期3Q	298,367,488 株	25年3月期3Q	298,387,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は平成26年2月12日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済状況は、米国景気が底堅く推移し、我が国でも企業収益を中心に緩やかな回復が続きましたが、中国やインドなどの新興国の成長が減速してきましたうえ、米国の金融緩和縮小の影響など、先行きが不透明な状況が続いています。

当企業グループの事業環境におきましても、需要は回復傾向にあるものの、円安に伴う原材料価格の上昇が続いているなか、高機能製品の拡販やコストダウンにより収益の向上を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,066億31百万円（前年同期比10.4%増）と増収になりましたうえ、営業利益は153億3百万円（前年同期比11.1%増）、経常利益は166億51百万円（前年同期比16.4%増）、四半期純利益は104億22百万円（前年同期比70.8%増）と、それぞれ増益になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 印刷・情報関連事業

オフセットインキは、国内では、デジタル化に伴う構造的不況による需要の低調が続いたうえ、原材料価格が大幅に高騰しましたが、高感度UVインキやタッチパネル用ハードコート剤などの高機能製品の拡販が進みました。

海外では、中国での需要の伸びが若干鈍ってきたものの、ボリュームゾーンへの供給能力の強化を図ってきた東南アジアやインドが伸長しましたうえ、欧米での高感度UVインキの拡販も進みました。また昨年4月には、ヨーロッパを中心に活動しているUVインキメーカーARETSグループの株式を取得しました。

グラフィックアーツ関連機器及び材料は、国内オフセット印刷市場の設備投資需要がやや回復し、印刷機械や新しく開発した紙面検査装置などの拡販も進みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は620億61百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は35億26百万円（前年同期比44.5%増）と、増収増益になりました。

② パッケージ関連事業

グラビアインキは、国内では出版用の減少傾向が続きましたうえ、主力の包装用も前半は伸び悩みましたものの、後半は飲料や食品関連などの需要が堅調に推移したうえ、環境対応型ラミネートインキ新製品の拡販も進みました。しかし原材料価格が大幅に高騰しましたため、販売価格の改定を進めているものの、営業利益では厳しい状況が続きました。

また、グラビア印刷用シリンダー製版事業は伸長しましたものの、グラビア関連の機器販売は減少しました。

海外では、中国や東南アジアで包装用の環境対応インキの拡販が進みましたうえ、新設したインドのグラビアインキ工場の本格稼働も進みました。さらには、北米の建装材用インキも好調が続きました。

これらの結果、当事業全体の売上高は469億69百万円（前年同期比10.2%増）と増収になりましたが、営業利益は17億46百万円（前年同期比7.0%減）と減益に終わりました。

③ ポリマー・塗加工関連事業

缶用塗料（フィニッシュ）は、国内では夏場の猛暑により、ビール系飲料缶向けは伸長しましたものの、ペットボトルの浸透やコンビニコーヒーの普及などにより、全般的に需要の減少が続きました。一方、東南アジアや中国では、食品缶、飲料缶向けとも堅調に推移しました。樹脂は、前半が低調でしたものの、後半は住宅関連が伸長してきました。

接着剤は、太陽電池用の需要回復が遅れていますが、国内での包装用の拡販は進みました。しかし原材料価格の高騰により、販売価格の改定を進めているものの、営業利益では厳しい状況が続きました。粘着剤は、前半がスマートフォン用、後半はラベル用が堅調に推移しました。塗工材料は、広告サイン用は伸び悩みましたものの、スマートフォン用電磁波シールドフィルムや液晶関連の保護フィルムなどが伸長しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は422億64百万円（前年同期比9.8%増）と増収になりましたが、営業利益は28億75百万円（前年同期比0.6%減）と減益に終わりました。

④ 色材・機能材関連事業

汎用顔料は、国内では印刷インキ用は伸び悩みましたが、建築や自動車塗料用は後半伸長しました。うえ、中国や東南アジアでの拡販が進みました。

プラスチック用着色剤は、国内では住宅関連や土木関連需要が活況なうえ、容器用も堅調に推移しました。また原材料価格の高騰に伴い、販売価格の改定も進めました。海外では、中国や東南アジアの事務機器関連、北米の自動車関連が堅調に推移しました。

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、テレビ需要が中国向けを中心に回復したうえ、タブレット端末やスマートフォンの伸長が続きましたため、国内や台湾での販売が回復、中国での好調も続きましたが、後半は液晶パネル在庫の過剰などにより、韓国向けが伸び悩みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は564億1百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は66億26百万円（前年同期比13.8%増）と、増収増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産の四半期末残高は3,366億54百万円で、期首残高より370億82百万円増加しました。負債の四半期末残高は1,527億11百万円で、期首残高より144億62百万円増加しました。純資産の四半期末残高は1,839億42百万円で、期首残高より226億20百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末日の為替レートは前連結会計年度末日の為替レートに比べ、円安に振れましたため、海外のグループ会社の各資産及び負債と為替換算調整勘定がそれぞれ増加しました。また、今期中に買収したARETSグループが連結子会社となりましたため、無形固定資産を含め、各資産及び負債が増加しました。さらに、日本の国内グループ会社では、国内株式市場の株価回復を反映し、保有する投資有価証券の時価が上昇し、投資有価証券とその他有価証券評価差額金が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期業績予想につきましては、平成25年11月8日に発表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,996	30,680
受取手形及び売掛金	82,733	92,800
有価証券	2,278	1,685
商品及び製品	23,683	25,752
仕掛品	1,158	937
原材料及び貯蔵品	12,676	14,028
繰延税金資産	2,646	1,893
その他	3,379	8,059
貸倒引当金	△590	△857
流動資産合計	161,963	174,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,735	86,034
減価償却累計額	△50,666	△51,464
建物及び構築物(純額)	32,069	34,569
機械装置及び運搬具	132,288	136,458
減価償却累計額	△112,782	△116,329
機械装置及び運搬具(純額)	19,506	20,128
工具、器具及び備品	20,857	21,237
減価償却累計額	△18,157	△18,319
工具、器具及び備品(純額)	2,699	2,917
土地	28,043	28,591
リース資産	259	363
減価償却累計額	△117	△164
リース資産(純額)	141	199
建設仮勘定	4,663	6,191
有形固定資産合計	87,124	92,599
無形固定資産		
のれん	459	4,197
その他	276	292
無形固定資産合計	736	4,490
投資その他の資産		
投資有価証券	35,816	50,486
繰延税金資産	1,053	932
その他	13,432	13,765
貸倒引当金	△554	△599
投資その他の資産合計	49,747	64,584
固定資産合計	137,608	161,673
資産合計	299,571	336,654

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,585	52,043
短期借入金	34,822	36,508
未払法人税等	4,371	2,029
その他	15,220	15,733
流動負債合計	98,000	106,315
固定負債		
長期借入金	35,383	36,154
繰延税金負債	1,481	6,546
退職給付引当金	1,432	1,562
環境対策引当金	306	365
資産除去債務	32	33
その他	1,611	1,733
固定負債合計	40,248	46,395
負債合計	138,249	152,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,920	32,920
利益剰余金	100,540	107,381
自己株式	△1,732	△1,748
株主資本合計	163,461	170,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	8,949
為替換算調整勘定	△6,623	△579
その他の包括利益累計額合計	△6,625	8,370
少数株主持分	4,487	5,284
純資産合計	161,322	183,942
負債純資産合計	299,571	336,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	187,189	206,631
売上原価	143,072	158,425
売上総利益	44,116	48,206
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,397	4,756
給料及び手当	7,211	8,011
賞与	1,799	1,887
福利厚生費	1,856	2,009
減価償却費	725	830
研究開発費	2,389	2,363
その他	11,962	13,043
販売費及び一般管理費合計	30,343	32,902
営業利益	13,773	15,303
営業外収益		
受取利息	79	125
受取配当金	633	653
為替差益	256	731
持分法による投資利益	12	38
その他	486	664
営業外収益合計	1,467	2,212
営業外費用		
支払利息	693	652
その他	239	211
営業外費用合計	933	864
経常利益	14,307	16,651
特別利益		
固定資産売却益	74	10
ゴルフ会員権売却益	—	4
移転補償金	1,994	—
その他	31	2
特別利益合計	2,100	17
特別損失		
固定資産除売却損	297	174
投資有価証券評価損	292	—
環境対策引当金繰入額	—	61
和解金	3,822	—
本社移転費用	460	—
その他	7	3
特別損失合計	4,880	239
税金等調整前四半期純利益	11,527	16,428
法人税、住民税及び事業税	4,092	4,595
法人税等調整額	1,054	1,076
法人税等合計	5,146	5,671
少数株主損益調整前四半期純利益	6,381	10,756
少数株主利益	279	334
四半期純利益	6,102	10,422

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,381	10,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	8,957
為替換算調整勘定	249	6,277
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	409
その他の包括利益合計	△113	15,644
四半期包括利益	6,268	26,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,976	25,418
少数株主に係る四半期包括利益	291	983

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	印刷・情報 関連事業	パッケージ 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	色材・ 機能材 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	55,920	42,185	37,389	48,235	183,731	3,458	187,189	—	187,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	229	421	1,113	2,017	3,782	1,112	4,894	△4,894	—
計	56,150	42,607	38,502	50,252	187,513	4,570	192,083	△4,894	187,189
セグメント利益	2,440	1,876	2,893	5,822	13,032	657	13,690	83	13,773

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額83百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	印刷・情報 関連事業	パッケージ 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	色材・ 機能材 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	61,760	46,446	40,952	54,261	203,420	3,210	206,631	—	206,631
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	523	1,312	2,139	4,276	1,131	5,407	△5,407	—
計	62,061	46,969	42,264	56,401	207,696	4,341	212,038	△5,407	206,631
セグメント利益	3,526	1,746	2,875	6,626	14,774	488	15,262	40	15,303

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額40百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。